

ページ番号	事業No	事業名	意見
6	第1章-1	民間保育園等施設整備助成事業	<p>・前期基本計画の施策「教育・保育環境（幼児教育）」の現況と課題で「保護者の就労状況の変化や待機児童の状況に応じた必要な教育・保育の量を確保することが喫緊の課題」と認識されているが、事業として公益財団法人児童育成協会から助成を受けた事業者には補助金を交付することになっており、極めて受身的な対応であると考えられる。児童育成協会の助成は一般的に簡単には採択されないものである。課題に対する今後の取組に書かれているように、様々な手法を検討し、市独自の助成事業にすることが望まれる。</p> <p>・民間保育園等施設整備助成事業が対象施設がないので補助金交付に至らなかったとある。最近の情勢をみると八千代市においては待機児童は増えているようだが、近隣他市の状況を見ると待機児童が減少していると聞いている。八千代市では大型保育園の建設は難しいので、小型の保育園（1歳から3歳）を作ることを目指しているように聞いている。保育児童の減少は新規保育園にとって経営的に厳しいと思う。この待機児童の解消は、八千代市直営の保育園等余裕のある所を最大限利用して乗り切るのはどうか。建築費も大きく高騰しており、環境が変わってきている。方針の修正を考慮することも必要ではないかと思う。</p>
9	第1章-4	学童保育所整備事業	<p>・指標の達成状況に「目標達成に向け順調に推移」とされているが、果たしてそう言えるのだろうか。効果検証で述べているように、「村上、緑が丘、八千代台地区など待機児童が多く発生している」という現状から見て、具体的な待機児童対策を行う必要がある。</p>
10	第1章-5	放課後子ども教室推進事業	<p>・施設の建設ではなく、関係各所との協議で実施できるとも良い事業だと思う。目標が八千代市内全ての小学校というところも良いと思う。せっかく付いている予算を有効に使ってほしい。</p> <p>・小学校からの不登校、ひきこもりが多いと聞いている。社会との日ごろからの関わりや、人との接点がない一人親家庭が増えている、話す人も見守る近所もない現状だ。放課後子ども教室に祖父母のような高齢者も参加できると役立つと思う。話をしたり聞いてあげるだけでも良いと思う。</p>
12	第1章-7	高齢者外出支援事業	<p>・移動するのが不便という高齢者の声が多く、タクシー券は大変助かっているようである。他の自治体で活用しているような、どこでも乗れて、どこでも降りられる定額のマイクロバス（デマンドタクシー）などの活用はできないか。市内が広いので市全域では難しいかもしれないが、考えてほしい。</p> <p>・タクシー代金の助成策は、有効な支援事業と考えるが、市街化区域内のエリアの方と、市街化調整区域内のエリアの方では、申請件数、タクシー利用時の運賃差による利用の手控え、補助券の運用法（複数枚利用不可）等の影響が想定されるが、効果検証の中で、実態調査を丁寧に行い、地域差が少なくなる運用方法等の検討が必要と考える。</p>
14	第1章-9	介護保険施設整備事業	<p>特別養護老人ホーム等整備は順調に推移しているように感じているが、最近、建設費の高騰や備品の品不足等が発生している。国や千葉県に認可された施設では有料老人ホームのように物価スライド方式（料金の引き上げ）がとれない。これに対応する事は今後の整備事業に必要と考える。決定した計画が頓挫することも考慮して対策をすることが重要と思う。</p>
18	第1章-13	公的病院等救急医療事業補助事業	<p>コロナ禍の状況を踏まえた内容になっていないのではないかと。コロナ禍において、八千代市の方向性として、どのようにしていきたいのかが見えない。方向性があるこそ、具体的にどのように医療体制を充実させていくべきかという話になるのでは。</p>
22	第2章-4	外国語指導助手派遣事業	<p>「やや目標達成困難」とあるが、その根拠が示されていない。結局予算が不足しているのではないかと。早期に全校に一人ずつ配置できるように努力したい。なお、留意したいのは、「ネイティブ」な英語を読み書きできる人材をどのように選択し、採用するかが重要である。そのためには、採用する側の人材に配慮する必要がある。</p>
23	第2章-5	コンピュータ教育事業	<p>指標の達成状況に「やや目標達成困難」とあるが、GIGAスクール構想は国家の事業として推進しているものであり、達成困難では困る。早急に原因を調査し、対策を立ててほしい。</p>
35	第3章-12	交通安全施設整備事業	<p>交通安全施設整備の内容ではないが、現在、国土交通省の運輸支局で確認が進められているバス停の設置位置の安全確認については、自治体が積極的に地域の方々との相互理解を得ながら、バス事業者との協議・調整が求められるため、公共交通会議等で運輸支局から示される状況を踏まえ、施策メニューに直接かかるものではないが、配慮することが求められてくると思う。</p>
57	第4章-13	バラ苗配布事業	<p>「事業の認知度向上」「愛着を持ってバラを咲かせてもらう（半年後の記念としての残存）こと」がポイントと捉えるが、自宅の庭で育てて咲いたバラのコンテスト（実際のバラの出来栄、育てる際の家族のエピソード等）のようなものを行うことで家族協力してバラを咲かせることへのモチベーションの向上を図ることができるのではないかと。シティプロモーション事業と絡めて考えると良いのではないかと。</p>

ページ番号	事業No	事業名	意見
58	第4章-14	(仮称)八千代市地域公共交通計画策定事業	これまで廃止したコミュニティバスの代替を図る交通手段について、個別施策の検討に留まっている。特に、地域ごとの町会長等へのヒヤリング中心の意向調査であったため、十分に地域の利用ニーズに応えられる各種交通モードの検討ができていない。地域公共交通計画の策定においては、上位計画(総合計画や都市マスタープラン等)との関係性を確認しながら、単なるフォアキャスト型の整備にならない計画策定をお願いしたい。
85	計画の推進-10	シティプロモーション事業	・「新たな情報発信媒体の運用を検討」とあるが、専門家のコメントや支援をもらってはどうか。 ・若い世代の意見を取り入れることが重要である。
89	計画の推進-14	情報システム標準化事業	若い人はデジタル社会でも、様々なシステムを使いこなせるかもしれないが、高齢者は必ずしもそうではない。高齢者がアクセスできないシステムにならないような工夫が必要。八千代市にも民間人材登用を含めたデジタル分野に関する専門職を置き、デジタルに強い職員の育成を行うべき。

【その他意見】

項目	意見
第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり	子育て環境に関しては、放課後子ども教室の他に「児童一時預かり支援事業」や「学童保育所整備事業」、「ファミリー・サポート・センター運営事業」などが列記されている。いずれも「ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり」にとって極めて重要な事業であると考え。SDGsはこういう事業で実現されるべきものと考え。
第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり	・第2章が目指す中核のアイデアは、前期基本計画の施策「義務教育」にあるESDの推進だと考えています。その目標達成状況を測ることは難しいが、例えば、教師に対しては「教科横断的な視点を持った教育を全小中学校において行えているのか」などについて、生徒に対しては「自分には良いところがあると思っているか」などについてアンケートを実施するなど、ソフト面の調査を毎年度実行してもらいたい。 ・市民ギャラリーは、現在新型コロナウイルスのワクチン接種会場となっているため、2年以上に渡りこの施設においてできる事業が中断、継続不可能となっており、施設本来の役割が果たせていない。本市の市民ギャラリーは、特徴の一つとして天井より自然採光を取り入れた人工照明ばかりに頼らない人に優しい施設であり、他の美術館やギャラリーでは見られないものがある。緊急事態のなか止むを得ない事情ではあっても、地域社会の役割を考える上で、市民ギャラリーの利用について検討の必要がある。
第4章 快適で環境にやさしいまちづくり	近年、局所的集中豪雨が多発していることから、浸水リスクのある上高野地区の浸水対策が懸念される。TOTO、ロジワン八千代物流センター近辺の側溝には蓋やグレーチングが無い所があり、大雨などにより道路が冠水すると、歩道と側溝の境界が分からなくなり大変危険である。蓋を設けるなどの対応を検討してほしい。
第4部 計画の推進のために	・新型コロナウイルス感染症対策に関する事業は必須であると考え。 ・デジタルに関する事業は必須であると考え。